

## AEDを建築・土木の作業所へ導入

### 安全衛生管理の向上と社会貢献を目的とした取り組み

戸田建設(株)(社長:今井 雅則)はこのたび、国産唯一のAED製造メーカーである日本光電工業(株)(社長:荻野 博一)の協力で、全国の建築・土木の作業所(計150ヵ所)にAED(Automated External Defibrillator:自動体外式除細動器)を設置しました。安全衛生管理の一層の向上に加え、近隣住民を含む第三者への活用にも配慮し、社会への貢献を通じたCSR(社会的責任)の一環として導入しました。



写真1 AED



図1 AEDを使った救命状況

### 1. 導入の背景

2004年7月に一定の条件の下での非医療従事者によるAEDの使用が認められてから、既に10年以上が経過しており、この間、駅や学校、官公庁等の行政機関に設置されたものを含めAEDの設置台数は飛躍的に増加しています(2016年末までの販売累計約835,380台)。

また、厚生労働省が2013年9月27日に公表した「AEDの適正配置に関するガイドライン」では、AEDの効率的で円滑な利用を促し、病院外心停止の救命を促進することを目的として、使用に関する教育・訓練の重要性等が示されています。

(AEDの設置が推奨される施設(例)の一つとして「多くの社員を抱える会社、工場、作業場」が挙げられています。)

今回の導入はこのようなガイドラインの趣旨を踏まえ、第三者を含めた活用を目的として実施したもので、当社は今後も作業所への設置を続けていきます。

### 2. 今後の展開

今後は、取り組みの範囲を拡大し、支店や作業所においてAEDの使用方法を体験する講習会を開き、専任のインストラクターを養成し全国に展開するなど、AEDが必要とされる場面で作業所内や近隣の皆様に有効に活用されるよう努めてまいります。

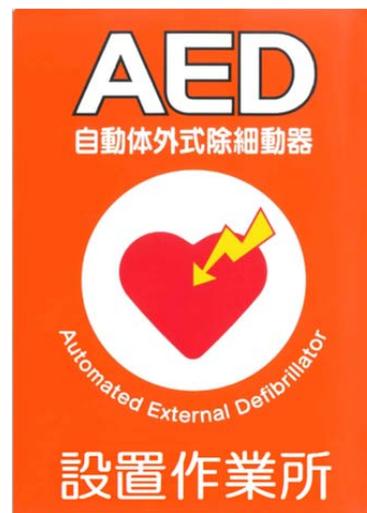


図2 ステッカーデザイン